

施策分析シート（平成28年度）

No1

施策名	広聴機能の充実	施策No	13-02	部課名	総務企画部秘書課	
				課長名	茶谷	内線 2160
関連部課名	総務企画部総務企画課・秘書課					
行政評価	分野	Ⅶ 計画推進のために				
事業体系	政策	13 区民の主体的な区政参画と連携強化				

目的 区民の立場に立った区民本位の区政の実現を図るため、区民のニーズや要望等を日常的に聴取する「区民の声」と、区政に対する区民の要望や意識を調査し、区政運営の基礎的データとして活用するための「区政世論調査」を中心に広聴機能の充実に努めます。

指	幸福実感指標名 (5段階評価)	指標の推移			指標に関する質問文		
	25年度	26年度	27年度				
①							
②							
③							
④							

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
	25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)		
①	「区民の声」 収受件数 (件)	1353	1249	1156	1200	-	
②	「区政世論調査」 有効回答率	54.6	53.5	55.6	55.0	55.0	回答率55%(1375/2500)を目標とする
③	Eモニターの委嘱者数 (人)	84	67	64	69	100	
④							
⑤							

現状と課題（指標分析）

○「区民の声」、「区政世論調査」はいずれも重要な広聴手段であり、これらの事業を中心に効果的・効率的な手法を採り入れながら広聴活動を推進している。また、これらを補完する事業として、「Eモニター制度」を実施している。

○指標の推移からも、「区政世論調査」は有効な調査結果を維持している。「Eモニター制度」は、制度の充実を図るために、モニター数の増加に努める必要がある。

今後の方向性

《今までの成果及び指標分析を踏まえて》

○「区民の声」については、広聴機能の中核をなす重要な手法であり、区政の改善につながるよう、引き続き、所管課と連携を密に図っていく。

○「区政世論調査」については、調査対象者の負担とならないよう所管課と調整を図り、回収率の維持に努める。

○Eモニター制度は、「区民の声」や「区政世論調査」を補完する事業として、即時性、回答率、費用対効果の点からも優れており、引き続き、モニター数の増加を図る。

○区政運営のための精度の高い基礎データを得るために、「区政世論調査」や他の調査結果を集積し、多角的な分析が可能な共有データの構築を図る。

施策の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	区民の声や区政世論調査は区民の意見や要望を広く収集し、区政の改善に結びつけるものであり、優先度が高い。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		26年度	27年度	28年度	29年度	
あらかわタウンミーティング	01-01-10	0	0	継続	継続	これまでと異なる広聴機能であり、内容を充実した上で、継続実施していく。
パブリック・コメント制度の推進	01-01-15	0	0	継続	継続	要綱に基づき、適切に実施する。
あらかわ・Eモニター	01-02-07	50	54	継続	継続	他の広聴機能を補完する事業として、リアルタイムで意見の聴取ができ、また即時性、費用対効果の点からも優れている。
区政世論調査	01-02-08	1,880	1,838	重点的に推進	重点的に推進	区の重点事業や今後取り組むべき課題を把握するために、区民全体を対象とした広聴活動として効果的な事業である。
区民の声	01-02-09	7	8	重点的に推進	重点的に推進	「区民の声」は広聴の中核をなす最も効果的かつ重要な手法である。区民の意見や要望を通して区政の改善が図れるよう、各所管部署との連携・調整をより一層強化していく。
合 計		1,937	1,900			